

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	長寿福祉課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2346
	基本事業	社会参加、生活支援・見守り・居場所づくりの拡充		事業実施主体	市
	事務事業	軽度生活援助事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	軽度生活援助事業は、在宅の一人暮らし高齢者等に対し、生活を支援する者を派遣し、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。事業は、公益社団法人高松市シルバー人材センターに委託して実施する。
-------	---

29年度概要	シルバー人材センターに委託し、65歳以上の一人暮らし高齢者の軽易な日常生活上の援助を行う。市は利用者の利用時間に基づいて、委託料として、委託先の高松市シルバー人材センターに支払う。
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	内部管理事務
--------	----------	---------	--------

【事業の目的】

対象(何を)	65歳以上の一人暮らしの高齢者等
意図(どのような状態にしたいか)	自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
軽度生活援助事業登録受付件数	件			3,090	3,150	3,175

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30				
成果指標	軽度生活援助利用率	%	目標値			33	33	37				
			実績値			32						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 申請者の状況を見極め登録事務を進めているが、入所等で利用できない場合などにより、利用率は横ばい状態となっている。 (目標達成度)	40 30 20 10 0		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	(達成度) 97.0%
		33点										
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)	1 0		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	37,389	37,234	37,450	33,847
(事業費)	[円]	33,698	33,395	34,310	30,707
(職員人件費)	[円]	3,691	3,839	3,140	3,140

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高齢者の在宅での生活の継続を目指すため、サービスを提供しているが、利用者が特に伸びているというわけではなく、本サービスについての周知がまだ不十分であると考えられる。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

新しい総合事業への移行を促進する中で、高齢者の経験と知識を生かし、生きがいを持って就業できるには、どのようなメニューが利用できるか、シルバー人材センターと協議し、会員の増加を目指す。